

## 気仙沼高等学校「地域社会研究」「課題研究Ⅰ」学年発表会に参加しました(2017/1/27)

テーマ：スーパーグローバルハイスクール，防災教育  
場所：宮城県気仙沼高等学校（宮城県気仙沼市）

1月27日（土）に，宮城県気仙沼高等学校にて「気仙沼高等学校『地域社会研究』『課題研究Ⅰ』学年発表会」が行われました，同校は，スーパーグローバルハイスクール（SGH）の指定校の一つになっています。SGHは，文部科学省の事業で，高等学校等におけるグローバル・リーダー育成に資する教育を通して，生徒の社会課題に対する関心と深い教養，コミュニケーション能力，問題解決力等の国際的素養を身に付け，国際的に活躍できるグローバル・リーダーの育成を図ることを目的としているものです。気仙沼高校は，「海を素材とするグローバルリテラシー育成～東日本大震災を乗り越える人材をめざして～」というプログラム名で，SGH事業に採択されています。今回は，SGHプログラムで実施されている「地域社会研究」と「課題研究」の一環での発表会になります。「課題研究」は，同校1年生が3～5名のグループになり，プログラムに関連する任意のテーマについて研究・発表を行ったものです。2年生の創造類型の生徒さんは「地域社会研究」として1年時の研究をさらに深めます。佐藤翔輔准教授（情報管理・社会連携部門）が，同プログラムのアドバイザーになっており，「海と防災」をテーマとする12班の審査員をつとめました。発表は同校体育館にて，ポスター形式で行われました。気仙沼高校では，同プログラムがスタートして2年目となります。インフルエンザで多数の生徒さんが欠席のなか，昨年よりもレベルの高い研究・発表・質疑があり，他審査員や一般参加の大人達の高い関心を集めていました。



発表会場の様子



発表の様子

文責：佐藤翔輔（情報管理・社会連携部門）